

2018年12月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	36,452,513	33,502,277	108.8%
国内旅行	3,821,636	3,839,914	99.5%
外国人旅行	4,572,370	4,179,260	109.4%
合 計	44,846,520	41,521,453	108.0%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ6社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、ミキ・ツーリスト）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。

1. 海外旅行

海外旅行では、各方面において年末出発のチャーター便が好調に推移したことに加え、マイナストレンドが続いていたグアムが座席供給数の増加を受け回復基調だったことにより、全方面においてプラスとなりました。チャネル別・商品別では、オンラインでの企画旅行が前年同月比 133%と好調に推移しており、中でも、欧州を中心とした添乗員付きツアーが好調に推移いたしました。店舗においても、エアー＋ホテルが引き続き好調に推移した結果、企画旅行が前年同月比 117%となりました。

以上の結果、海外旅行の総取扱高は、前年同月比 108.8%の 364 億 5,251 万円と前年を上回りました。

< 海外旅行 方面別・商品別・チャネル別データ >

① 方面別

方 面	前年同月比
アジア	106.4%
オセアニア・南太平洋	111.9%
ハワイ・ミクロネシア	105.3%
欧州・中近東・アフリカ	133.5%
北米・中南米	105.7%

② 商品別

商 品	前年同月比
手配旅行	105.8%
企画旅行	117.0%

③ チャネル別

チャネル	前年同月比
店舗	109.8%
オンライン	120.3%

2. 国内旅行

国内旅行では、ハイシーズンの北海道において、オンラインでの予約が前年同月比 141%と好調に推移いたしました。一方で、雪不足によるスキーバスツアーの減少もあり、全体では前年並みとなりました。

以上の結果、国内旅行の総取扱高は、前年同月比 99.5%の 38 億 2,163 万円となりました。

3. 外国人旅行

外国人旅行では、夏の自然災害による落ち込みからのマーケット全体の回復に加え、営業強化により中国からの団体旅行の予約が復調。そのほか、東南アジア、欧米など一部の地域からの受客が増加した結果、外国人旅行の総取扱高は、前年同月比 109.4%の 45 億 7,237 万円と前年を上回りました。

以上の結果、2018 年 12 月の旅行取扱高の総計は、前年同月比 108.0%の 448 億 4,652 万円と前年を上回りました。

以上